



つわの

6月定例会
議会だより

平成27年 第5回定例会

- 平成27年第5回(6月)定例会 2
- 左鐙小学校閉校議案可決 3
- 契約案件・請願 4
- 一般質問 5~9
- 所管事務調査報告 10
- 賛否表 11
- この人にインタビュー・編集後記 12

No.39 (2015)

平成27年7月20日発行
島根県津和野町議会
TEL 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp
印刷：津和野印刷

※5月24日 シルクウェイにちはら収穫祭 つわの風雅蒼涼

☆平成27年☆第5回(6月)定例会を開催

平成27年度一般会計補正予算(第1号)歳入歳出それぞれ、2億2033万円を追加し、総額90億33万円を可決しました。

補正予算の内容

歳出(主なもの)

※千円以下切り捨て

【総務費】

- 減債基金積立金 3500万円(平成26年度剰余金)
- 財産管理費積立金 135万円(つわの暮らし推進住宅基金)
- 企業誘致対策費 184万円(高津川清流館改修設計業務)
- 企業誘致対策費 500万円(清流館改修工事費)
- 生活バス対策費 179万円(口屋橋バス停調査設計費)

【民生費】

- 社会福祉総務費 2014万円(障害者福祉センター設計管理費)

【農林水産業費】

- 林道費 410万円(三子山線法面崩壊復旧工事費)
- 林業振興費 702万円(地域おこし協力隊委託料及び計画作成費)

【消防費】

- 報償費 278万円(団員6人分退職報償金)

【商工費】

- 日本遺産センター準備費 592万円(元葛飾北斎美術館修繕費)
- 日本遺産センター準備費 556万円(日本遺産広告、オープニングイベント費)
- 日本遺産センター準備費 3527万円(日本遺産推進協議会事業資金)

【教育費】

- 教育諸費 500万円(日原小体育館天井撤去設計委託料)
- 教育総務費 418万円(日原山村開発センター耐震診断業務委託料)
- 郷土館費 121万円(津和野百景図印刷製本費)

【災害復旧費】

- 過年農地農業用施設災害費 592万円(風呂屋井堰ポンプ室用地購入費)
- 過年公共土木施設災害費 1879万円(白井橋拡幅助成事業負担金)

左鐙小学校閉校議案可決

反対・賛成討論の中7対4で可決

住民・議会共に賛否両論で揺れ動いた統合問題は、
27年度末で閉校することを決めた。

条例の改正

○津和野町立学校設置条例の一部改正

・左鐙小学校を閉校し平成28年4月1日より日原小学校に統合するもの

賛成討論

「賛成多数で可決」

●出来るだけ大勢の友達の中で育つことが大事である。
●我が子を育てるためには友達を育てなくてはならない。
現在の状況は義務教育の限界である。

●地域の努力は認めるが目標値に達しておらず、児童の増加は見込めない。

●畑迫小、須川小、木部中も計画に従い統合してきた。同



閉校が決まった左鐙小学校

反対討論

じように扱うべきである。

●住民との合意がなく、在校生児童の保護者全員が統合に反対する中で、強引な提案である。

●地方創生の動きが始まろうとしている。町の方向性に逆

行するものである。猶予を与え、共に定住に向けがんばるべきである。

●がんばっている地域を行政は支えるべきである。

●友達と触れ合う環境は工夫次第で出来る。現時点の統合は反対である。

○津和野町税条例等の一部改正 主な改正点

・軽自動車税の見直し

環境性能を有する軽四輪等についてグリーン化特例を導入。

・個人住民税における住宅ローン減税措置の対象期間延長

対象期間を平成31年6月30日まで1年半延期。

・ふるさと納税

特例控除額の上限を個人住民税所得割額の1割から2割に拡充。

・旧3級品の製造たばこに係る税率の見直し

「賛成多数で承認」

○津和野町国民健康保険条例の一部を改正する条例

「全員賛成で承認」

○津和野町新規農林業就農者に係る支援事業に関する条例の廃止

・今後は補助金交付要綱で対応
「全員賛成で可決」

○つわの暮らし推進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

・各団地ごとに新たに番地を設定するもの
「全員賛成で可決」

○つわの暮らし推進住宅基金条例の制定

・推進住宅の維持・管理に必要な財源に充てるため基金を設置するもの
「全員賛成で可決」

○高津川清流館の設置及び管理に関する条例の一部改正

・企業誘致のため目的の一部と使用料を加えるもの
「賛成多数で可決」



誘致企業が入る予定の高津川清流館

契約案件

○旧堀氏庭園畑迫病院組立等工事請負変更契約の締結

契約の方法 随意契約

2億6387万1000円

(1628万1000円増)

契約の相手方

協和建設工業(株)

変更理由

合併浄化槽増設

照明設備増設 エアコン

「賛成多数で可決」



復元工事中の畑迫病院

○後田地区外下水道管敷設工事請負変更契約の締結

契約の方法 随意契約

1億4744万1600円

(2864万1600円増)

契約の相手方 堀建設(株)

変更理由

埋め戻しを購入土に変更

舗装の一部を本復旧に変更

「全員賛成で可決」

請願

「地方財政の充実・強化を求める請願」

請願者

津和野町職員組合委員長

倉木 正行

紹介議員

草田 吉丸

子育て支援、医療、介護などの社会保障、被災地の復興、環境対策、地域交通の維持等、地域自治体の「地域のセーフティネット」としての役割は年々拡大している。また、人口減少率・高齢化率の高い本町では、介護・福祉・子育て支援施策の充実、農林水産業の振興、観光資源の保全と開拓など、地域における雇用の創出と人口の増加が期待できる施策の充実と強化が必要である。

地域の安心安全を支える公共サービスの充実・確保を基本とする自治体予算編成を確立するため国に対し「地方財

政の充実・強化を求める意見書」提出を求めるもの

採択（賛成多数）

*国の関係機関に意見書提出

「集団的自衛権行使のための立法化に反対する意見書を国に提出することを求める請願」

請願者

新日本婦人の会

日原しあわせ班

大畑 幸

紹介議員

寺戸 昌子

憲法を変えずに集団的自衛権行使を可能にすることは違憲であると多くの憲法学者が発言している。国に対し「集団的自衛権行使のための立法化に反対する意見書」を提出し日本国憲法第9条を順守する事を望む。

採択（賛成多数）

反対討論

すでに国会で審議中。立法化をやめよというより慎重な審議を求めるべきで、今意見書を出しても効果を感じない。

賛成討論

国会で合憲が揺れている

が違憲であると大多数の憲法学者が述べている。解釈の変更で行使するべきではない。

*国の関係機関に意見書提出

「請願？意見書？」

意見書の提出を求める請願？

請願は、議員を通して議会に提出された陳情や要望の事です。

意見書とは議会が国などの行政機関に対し提出するものです。津和野町議会では提出者と1人以上の賛成者があれば、議案に付すことができます。

「意見書の提出を求める請願」の場合、請願を審査し、採択されたら、改めて2人以上の議員が意見書案を提出し、審議します。よって、「意見書の提出を求める請願」の場合、請願と意見書は別々に審議されます。

Q 耕畜連携の促進は

新規需要米を増産し、畜産農家へ供給する地産地消による持久力の向上を推進する



御手洗剛議員

問 当町で

(WCS)の増産に乗り出すこととしているが、取り組み状況は。

町長 主食米の米価がこのまま推移すれば、水田経営が難しくなることから、特に法人組織を中心にWCSや飼料用米の栽培面積が増大している。

問 昨年度のWCS栽培面積は8・1ha、今年度は26・5haで3倍以上、飼料用米においても10・2haから22・6haに拡大し、約2・2倍の面積となった。

問 水稲作の転換を支援する国による産地交付金等の政策支援の長期継続が重要だがその対応は。

町長 国の措置がなくなれば継続することは厳しく、今後は「食料の自給力の向上」を掲げながら、国の支援継続を訴えていく。

Q 空き家対策特別措置法の全面施行への対応は

7月1日開催される県の空き家対策の推進に関する説明会を受け検討

問 「空き家対策特別措置法」が全面施行された。当町の空き家の実態は。

町長 空き家の外観調査で町内家屋の約1割(500物件)が空き家となっており、その内、空き家情報バンク登録に繋がった物件は、31物件。倒壊の危険性がある物件は64物件であった。

Q 保育園の民営化に伴う社会福祉法人設立に向けて準備会での協議の進捗状況は

法人名を「社会福祉法人津和野清流会」と決定し、協議が重ねられている

問 準備委員会から町への要望は。

町長 土地・建物の無償貸与、法人設立の基本財産、保育所運営における収支不足に対する財政的な支援等の資金要望がある。

Q 直地児童館・本部保育所の運営を担う社会福祉法人設立の進捗状況は

10月頃までに県への許可申請を行い、年明けに設立認可される見通し



板垣敬司議員

問 法人設

立時期、組織体制、土地・建物、事業資金、収支計画、職員採用等どのような計画で進められているのか。

町長 法人を設立する際、基本財産として、1000万円以上の現金等運用財産が必要。2園の運営費の試算では単年度で1000万円から1500万円程度の収支不足が見込まれる。町として、土地・建物の無償貸与を含め、財政的にも全面的に支援をしていきたい。

問 学童保育の縮小・廃止、さらに子育て支援センター設置についてはどのような対応なのか。

町長 学童保育については「子ども・子育て支援推進会議」において、低年齢保育児童の増加等で、保育士不足による安全確保と健全育成が困難な状況にあり、各小学校での「放課後児童クラブ」での対応をお願いしたい。このクラブ

について、とくに地域から要望があれば設置について支援は惜しまない。子育て支援センターについては、畑迫保育園に設置する計画であったが、直地児童館にある支援センターでの継続を含め、新たな法人と協議して方向を見出し、行きたい。トイレは法人に移管した後、改修したい。

Q 本質バイオマス活用事業が国の地方再生戦略交付金となったが、町の取り組みは

事業化への検討を更に進めていきたい

問 当町の地方再生戦略にとって朗報だが、今後の取り組みを問う。
町長 当町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一環として、長野、宮城県の稼働状況等参考にし、検討を進める。



Q 新たな子育て支援策を

A 総合的観点から検討する



議員 京村まゆみ 子育ての中で、乳幼児期は主に手がかかる。高校大

学は特に家計を圧迫する。自宅で子育てしている人は約60人ほどだが、社会的に評価されにくく、核家族化が進む中で時間も自由になりにくい。応援する姿勢を示す意味で一時預かり保育料金の補助も考えてはどうか。また、高校大学生に対し一定の条件を付した給付式奨学金制度を設けてはどうか。

町長 新たな財政的支援策については厳しい財政状況を勘案し、若者定住奨励金の内容の見直しなども含め検討する。

Q 左鍚小学校廃校の計画は

A 6月議会最終日に閉校の議案提出する

問 3月に存続の請願が不採択となり議会が町の方針を追認する形となった。その後の廃校に関する計画と経過は。

教育長 4月に児童、乳幼児保護

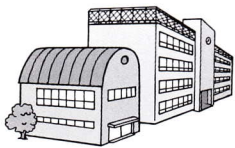
者対象にアンケートを実施した。賛否両論あり保護者総意の結論は得られなかった。5月1回と、6月議会開会前夜に地域説明会をおこなった。地元より意見のあった休校案も提示したが賛成がなく、閉校という結論を出した。議会最終日に追加提案で閉校の議案を提案する。

問 在校保護者全員反対の中アンケートの結果を一部のみ公表はおかしい。情報操作に見えるので保護者の不信任は強まる。また、こんな重要な議案が最終日追加提案で、情けなく悲しい。なぜ初日に提案できないのか。

教育長 個人が特定されるので、人数の多い33年時点のみ公表した。地域へ休校案についての確認が必要でぎりぎりの日程となってしまった。

問 現保護者は全国から左鍚小学校を選んできている。彼らに対する責任は重い。

教育長 日原小に通わせたいと強く希望する地元保護者もいる。反対者の思いは受け止める。



Q 伝統芸能17団体の存続は

A 民族芸能保存協会と相談していく



議員 後山幸次 問 鷺舞神事、流鏑馬列、盆踊り保存会等17

団体は、町の観光宣伝には多大な貢献をされている。現状は高齢化が進み、会員確保にも大変な苦労と聞く。会の運営も寄付金に依存して運営できる現状ではない。夏場の行事でもあり、衣装の洗濯代でも大変な支出と聞く。17団体で50万円の補助金である。今回、日本遺産に認定されたのを機に会の運営、存続ができるような補助金の増額について検討されたい。

町長 今までは一律1万円であったが、不公平感があり23年度より17団体に一括50万円を補助している。活動の状況により保存協会が配分している。日本遺産認定を機に、新たな取組計画があれば、相談をして頂きたい。

Q 空き家対策は

A 管理条例の制定を検討したい

問 政府は空き家対策の特別措置法で撤去勧告の指針を公表した。管理条例のない津和野町では500戸の空き家があるが対応は。

町長 町全体で約1割が空き家である。確認したものは左記のとおりである。

比較的新しい物件	91 件
小規模な修繕が必要な物件	179 件
大規模な修繕が必要な物件	166 件
倒壊の危険がある物件	64 件
合 計	500 件

県で空き家対策特別措置法の説明会を受け、条例の制定について検討したい。

問 日原中学校むつみ寮を解体され、跡地を推進住宅整備事業として有効活用されたい。

教育長 有効利用の案もなく、解体撤去も多額の費用が必要。一般財源での対応には苦慮している。日原地区まちづくり委員会より推進住宅建設の要望があり、検討したい。

【その他の質問】

- 国の地方創生
- 城下町水路水質調査
- グラウンドゴルフ場

Q 津和野町医療の現状と課題は 医師確保が緊急の 最重要課題



議員 丸吉 草田
問 医師、看護
師確保に
対する取
組み状況
は。

町長 医師については関係する大学への派遣要請や島根大学医学部の奨学金貸与者2人、地域枠推薦入学者3人との意見交換会、地元出身者医師からの情報収集等最大限の努力をしている。

看護師確保対策も奨学金貸与事業及び地域推薦入学者の公募、募集チラシ、学校訪問、実習受け入れ、中学生、高校生の介護体験実習等実施している。現状は本年4月から計6人が勤務された。今後平成30年までに6人が勤務される予定であるが、退職者もあり依然深刻な状況である。

問 医療業務の現状と課題は。

町長 平成26年10月より一般病床を急性期と地域包括ケア病床との混合病床に変更した。今後はこの病床を活用して在宅復帰支援に繋げていきたい。

外来診療受診者は減少傾向であるが、医師の余裕はほとんどない

状況である。在宅療養支援病院機能維持のためには医師確保が緊急の最重要課題である。

問 休止中の療養病床再開と日原診療所3階の使用は。

町長 人口減少や老健施設でまかなえる状況もあり再開は考えていない。診療所3階は老健施設99床のうち70床を切っている状況もあり使用は考えていない。

問 経営の現状と課題は。

町長 患者数、利用者数の減少で収益は減額になると予想している。「医療法人橘生堂」と協議し一層の効率化を進めたい。

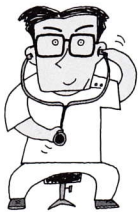
問 津和野町医療の方向性は。

町長 地域包括ケアを推進していくためには医療関係の連携強化、介護サービスの充実、介護予防、生活支援、高齢者の住まいの整備が必要。「医療法人橘生堂」の運営体制の強化及び地域包括ケアシステムの実現のため戦略的方向性を中期計画として今年度作成したい。

【その他の質問】

○空き家対策

○まちづくり委員会



Q 安保法制に対する 町長の姿勢は 議会の議論を踏ま え町の姿勢を示す



議員 寺戸 昌子
問 憲法の
戦争放棄を
どのように
認識してい
るか。

町長 憲法の「戦争の放棄」「戦力の不保持」「交戦権の否認」の規範的要素のもと、我が国の平和主義が普遍に保たれるとともに不戦による世界平和が実現されることを強く望んでいる。

問 戦争法案とも言われる安保法制に対しては。

町長 町民の皆さまが問題意識を持ち思考して頂きたい。そのうえで議会での議論を踏まえ津和野町としての姿勢を示していく。

Q 総合教育会議は公 開されるか A 公開する

問 教育委員会制度改革で町長が参加する総合教育会議が開かれることになったが、津和野町では公開されるのか。

町長 原則公開する。会議の終了後、会議録も作成し、公開する。

問 今年は中学校教科書採択の年になる。政治的中立を保つため町長は採択に関与すべきではないのでは。

町長 引き続き教育委員会は合議制の独立した執行機関である。教科書採択は総合教育会議の協議、調整事項ではない。町長の権限に関わらない。

Q 荒れている湿生植物園の管理は 改善していく

問 日原カントリーパークに隣接する湿生植物園を整備すべきだ。現在、橋は破損し、植木が伸びすぎ、雑草がのび放題だ。整備されれば、癒しのスポットになる。町民の憩いの場所になる。

町長 維持管理業務委託先と契約を確実に遂行できるよう協議し改善していく。

問 町内には他にも管理されず使われていない施設がある。今ある施設を有効に使えるよう管理すべきでは。

町長 町全体には活用されていない施設もある。危険箇所も点検して活用していく。気づいた点があれば指摘して欲しい。

Q 日本遺産センターはどこに設置するのか

A 旧葛飾北斎美術館を予定



丁 泰仁議員

問 日本遺産に関して具体的な観光施策はいくつかあるから始まるのか。

町長 ポケットガイドブックのまち歩きパンフレット作成、ホームページ開設など、概ね秋の行楽シーズンを目指して作成、実施予定である。

問 この度日本遺産センターとして整備、活用が予定されている旧葛飾北斎美術館にて日本遺産センター開設と共に郷土芸術家の方々の作品を常設展示させてほしいというような要望があるがどうか。

町長 スペースを踏まえ、他の文化施設のあり方等についても十分検討した上で結論を出したい。

問 日本遺産認定の根拠となった津和野百景に描かれている鷺舞、流鏑馬等の伝統行事及び乙女峠祭りなどの観光行事に対して、訪日外国人旅行者対策としても、補助

金の増額見直しをしては如何か。
町長 町として協力ができることを検討する。

Q 東京事務所の成果と対応策は

A 目的に優先順位をつけ着実に取り組む

問 昨年度の東京事務所経営の目的に対する成果は。また、受託事業者である観光協会の東京事務所特別会計の昨年度の赤字決算に対して今後行政の課題と対応策は。

町長 旅行代理店セールス業務、特産品等の販路開拓、情報発信業務、関係団体連携業務などの目的はそれなりの成果を上げてきた。観光協会の赤字決算の主な原因は事業欲旺盛で張り切りすぎてイベントなどの支出が増加。また、人員配置にミスが生じ、人件費等の増加にも繋がった。

今後は観光協会とさらに緊密に情報交換し必要とされる目的に優先順位をつけ着実にひとつひとつ取り組むたい。



Q 津和野城主のテレビドラマ製作を

A 今後検討の必要がある



米澤 文議員

問 兵庫県朝来市の竹田城跡は映画「天と地と」で一躍有名になり観光客が押し寄せている。津和野城主御三家「吉見氏・坂崎氏・亀井氏」の映画、テレビドラマ製作の依頼を脚本家に依頼してはどうか。

町長 観光戦略を立て、当町主導で今後検討していく必要がある。

Q 城跡樹木伐採・モミジ植樹・世界遺産登録運動

A 日本遺産の取組を確実に進める

問 町最大のシンボルである津和野城壁下の樹木を伐採し雄大な全石垣を出現させ森村、後田、中座、高田、喜時雨からも展望出来るようにするべきではないか。伐採後モミジを植樹し城跡石垣修復完了予想の20年後、日本で唯一のモミジ城を創出し観光客増大を図ってはどうか。

町長 樹木伐採は文化庁、県自然環境課等の許可申請必要、簡単に伐採を進めることはできないと考える。

問 今年5月明治維新の重工業施設「明治日本の産業革命遺産」の福岡・山口などの8エリア23施設が世界遺産に勧告されている。雲海に浮かぶ天空の城・津和野城跡・岡山県松山城・兵庫県竹田城跡・福井県大野城・三重県赤木城跡の5エリア連携で世界遺産登録は十分資格が有ると思う、津和野町と島根県が中心で目指してはどうか。

町長 先ずは認定された日本遺産を活かした取り組みを確実に進める。

Q 見晴らし広場整備を急げ

A 民間所有者の方に啓発活動を進める

問 多くの町民や観光客の大きな関心ごとである、9号線脇の旧レストランなどに27年度新規事業で見晴らし広場整備事業が組み込まれた。日本遺産第1弾に認定されており、この事業は最優先課題で早期に実施、実現するべきではないか。

町長 民間所有者の方々にも配慮し啓発活動を進めていく。

Q 私製百景図の展示場所を

A 施設利用の協力をする

問 町が日本遺産認定の原動力となった津和野百景図の模写が驚原地内の県道沿いに38枚展示されている。津和野観光に大きく貢献する作品の展示場所を提供してはどうか。長い製作時間と絵の具など画材は自前の経費である。

町長 製作者に相談し施設利用の御意向があれば協力をする。

Q 中学生対象の公営塾の開設に向けての進捗状況は

A 8月から新規講師1人を採用し、秋頃から開講する予定



岡田克也議員 問 中学生対象の公営塾開設の準備が進められていると

思うが、進捗状況について。

町長 週3回の授業を行い、中学生・保護者へのアンケート調査から、1限目19時10分～55分、2限目20時5分～50分で設定したい。日原中学生は、バスで日原地区から送迎を行う。

Q 町内児童数の大幅減少に対し、町外からの津和野高校留学を強く進めるべきでは

A より全国募集に力を入れ、生徒数の確保を図る

問 町内の児童数は大幅減少するため、津和野高校の志願者維持対策が必要。非常に高い評価の公営塾をアピールすることや、町内出身の県外在住者が祖父母宅などに

らの通学や、海外からの留学生の受け入れ等、行うべきでは。

町長 町営英語塾の取り組みから、津和野高校への入学志願者数が増加しており、平成27年度においては、定員80人に対し71人の入学者数となった。町内、圏域からの入学者数を確保することを第一と考えているが、町内中学校卒業生数は、27年度48人、28年度59人、29年度44人、30年度38人と減少する見込みであり、全国募集に力を入れる。情報発信が重要であり、パンフレットや学校便りの発行、ホームページのリニューアル、島根Uターンフェアへの町営塾スタッフの参加、オープンスクールの支援等を積極的に行う。将来的には藩校養老館を改修して、中学生対象の公営塾を行い、養老館出身人物の展示も行い、観光客にも開放し、津和野高校の公営塾と津和野の教育を知ってもらいたい。寮生と地元住民の交流の場を作る「つわの暮らし応援団」制度を進め、寮の定員数と老朽化対策は県と相談する。



Q 伝統芸能・行事の維持について考えているのか

A 協力できることを検討する



川田剛議員 問 日本遺産の認定を受け、今後の事業展開について、

時期、事業主体、事業内容や予算措置は。

町長 津和野町日本遺産推進協議会を主体とし、文化庁の「日本遺産魅力発信推進事業」を活用して、本年から最大5年間の事業として実施。事業は、「津和野今昔100景図を歩く」についての魅力を高める事業として、情報発信事業、普及啓発事業、調査研究事業、情報発信設備整備事業を推進していく。本年度は事業内容を協議会で検討、事業費約3500万円の申請を行っている。

問 既存の文化施設もあるなかで、施設の数が多いのではないかと感じる。人件費や維持管理費などはどのように考えているのか。所見を問う。

町長 施設は、旧葛飾北斎美術館

を無償で提供いただいたものを修繕し、1階部分には日本遺産の展示整備を、2階部分には歴史的風致維持向上計画における城下町の歴史などの展示を整備する。

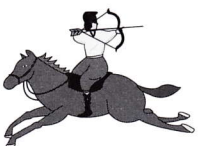
人員は地域おこし協力隊と集落支援員を新たに雇用し、既存のスタッフとともに3人体制で事業の推進、施設の運営を行う。

問 高齢化や少子化等により今後継承が懸念される伝統芸能・行事等の維持について町としてどのように考えているのか。

町長 民族芸能伝統保存協会と協議を行いながら、構成する団体の運営のあり方や会員の確保等の取り組み状況を把握し、協力できることを検討したい。

問 津和野百景図には津和野城も描かれている。これを機会に津和野城の復元について議論を始めるべきと考えるが、所見を問う。

教育長 津和野城跡整備検討委員会において、石垣の整備などは検討されているが、復元については全く議論されていない。すでに着手されている石垣の修繕やトイレの整備などを優先させていきたい。



・所管事務調査報告・

★総務経済常任委員会

津和野町の財政・税務について

出席者 島田副町長・福田総務
財政課長・楠税務住民課長・議
長・総務経済常任委員6人

津和野町の現況と将来予測

当町は少子高齢化による社会
保障費の増大や、人口の大幅な
減少による交付税や税収の減少
など、津和野町の財政状況は厳
しさを増している。平成28年度
からは、合併特例の交付税措置も
97.53割に年々減額され、
平成33年度には全額なくなる予
定であり、現在と比較して5億
円程度の減額が予想される。

橘井堂の経営も厳しさを増し
ており、新公立病院改革ガイド
ラインにより、公立病院への交
付税措置（1床70万円）が、許
可病床数から稼働病床数に変更
となることが決まり、交付税が
減額となる見通しである。町民
の命を守る医療の灯は決して絶
やしてはならないことから、町
としても様々な策を講じてでき
るだけの支援を行っていくが、
財政負担の増加は避けられない

状況である。

平成28年度からは基金取り崩
しを行いながら運営していか
なければならぬ現状であり、基
金残高も年々減少していくこと
が予想される。実質公債費率は、
地方債発行に国や都道府県の許
可が必要となる18.0%未満を
堅持しなければならぬことか
ら、来年度以降は事業の取捨選
択を厳しく査定しながら、予算
執行していかねければならぬ
い。平成27年度には繰り上げ償
還を行う予定である。平成28年
度以降は人員削減を進めて行く
予定である。

町県民税の税収については、
人口減少による税収減となつて
おり、今後減少が予想される。
島根県や近隣市町村との併任制
度の実施などにより、町県民税
の徴収率が上昇している。平成
24年度から、滞納による預金や
不動産の差し押さえも行ってお
り、払わなければならぬとい
う意識が向上して、滞納が減少
して来たと思われる。

調査意見

津和野町の財政を取り巻く状
況は、著しく悪化していくこと
が予想される。実質公債費率は

できるだけ低く抑えるべきであ
り、繰り上げ償還の実施や、人
員削減や人件費の抑制、各課事
業の精査など、経常的な支出の
抑制を行い、交付税の大幅な減
額に備えるべきである。また、
事業費も取捨選択を厳密に行い、
特に大きな財政的負担を生じる
事業については、非常に慎重な
検討が必要である。収入の大幅
な減少により、人件費率が高く
なることが予想され、人件費の
削減が必要である。定員管理計
画をより厳密に行うことや、特
定の職員に多く見られる時間外
勤務手当も、管理を厳しく行う
べきである。また、事務処理能
力の高い優秀な職員を、昇給や
昇格で優遇する人事考課制度を
早急に導入すべきである。

自主財源の乏しい当町にとつ
て税収は貴重な収入であり、ま
た税の公平性の観点からも、徴
収業務の推進を行うべきであ
る。同時に厳しい当町の経済状
況から、分割納付や納付時期な
どの相談にも臨機応変に対応す
べきである。滞納者は多重債務
者が多く、国保税や上下水道料
なども一体とした徴収方法を推
進すべきである。

津和野町の今後の財政予測

(単位は千円)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
地方交付税	4,710,978	4,457,206	4,155,070	3,753,208	3,646,865	3,598,606	3,502,967
歳 入 合 計	8,979,753	11,772,973	8,139,199	6,894,123	6,453,083	6,369,638	6,210,850
基金取崩額	45,663	246,755	0	140,000	237,000	260,000	225,000
人 件 費	1,178,782	1,230,295	1,238,712	1,220,984	1,186,886	1,172,746	1,180,199
物 件 費	1,283,182	1,449,155	1,319,307	1,292,350	1,289,184	1,165,104	1,055,400
基金残高	4,095,026	4,105,711	4,362,798	4,239,905	4,019,977	3,776,985	3,568,822
実質公債費率	13.2	11.7	11.6	12.6	13.3	14.2	14.6

提出者	第5回 6月定例会 賛否表 ○=賛成 ●=反対	後山	川田	米澤	岡田	草田	丁	寺戸	御手洗	三浦	京村	板垣	結果
町長	益田地区広域市町村圏事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	旧堀氏庭園畑迫病院組立等工事請負変更契約の締結	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町新規農林業就業者に係る支援事業に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	高津川清流館の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
	つわの暮らし推進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	つわの暮らし推進住宅基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
	平成27年度津和野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町電気通信事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町診療所特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町立学校設置条例の一部改正	○	●	○	○	●	○	●	○	○	●	○	可決
請願	「地方財政の充実・強化」を求める請願	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	採択
	集団的自衛権行使のための立法化に反対する意見書を国に提出することを求める請願	●	○	●	●	○	○	○	○	●	○	●	採択
議員	「地方財政の充実・強化」を求める意見書の提出	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	集団的自衛権行使のための立法化に反対する意見書の提出	●	○	●	●	○	○	○	○	●	○	●	可決
第4回 5月臨時会													
町長	【専決処分】平成26年度津和野町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	【専決処分】津和野町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	承認
	【専決処分】津和野町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	平成26年度後田地区外下水道管布設工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

この人に
インタビュー

新規就農者！



岸田さん・増子さん・山田さん

＊3人はIターンで津和野町に就農されましたが、昔からの友人でもあるそうですね。茨城出身の増子淳一さんは信州大学卒、名古屋出身の山田達郎さんはオクラホマ州立大学卒、広島出身の岸田薫さんは横浜市立大学卒、それぞれ出身も出身大学も違う3人が出会った場所と津和野町で就農されるきっかけ、現在の状況等を教えてください。

山田 ペルーにいた時にブラジルから西へ600キロのところにある弓場農場を紹介されました。ここは戦後に日本人が移民して作ったコミュニティで、お金のやり取りはなく、農作業の労働対価として、飯と宿がタダで、3人が出会ったのはそこです。

増子 テレビ局のアシスタントディレクターの仕事をしていて、仕事は本当に好きでしたが、一度しかない人生の中で、自分が本当にしたいことは何かを見つけるために旅をしま

した。自転車で行った全国一周の旅に出て、福井県三国町にIターンで自然飼育・有機農法を行い、農村女性の活動を支援する田舎のヒロインワクワクネットワークというNPO法人を主催する山崎洋子さんからいただいた名刺一枚で、全国の農家を巡らせていただきました。わさびが作りたいと思い、静岡・長野・岩手・匹見町等を見て回りました。その中で、津和野町役場農林課の宮内さんと佐伯さんが、本当に親身になって相談に乗っていただいたことと、津和野町には国有林が多く、人が入って来ていないわさびの圃場がたくさんあることが決め手になりました。

山田 親友である増子君からの勧めと、農林課の方々の親身な対応などにより、就農することを決めました。農業研修生として1年間従事し、今年の春から新規就農者としてネギの栽培を中心にやっています。

岸田 私もうはり増子君と山田君の勧めが一番の理由でした。津和野町の方々は本当に親切です。自給自足でどうやって生計を成り立たせていくかを農業研修期間に見つけて行きたいと思っています。

増子 *津和野町で就農してから変わったことや気付いたことがありますか。
山ちゃん、以前はひね

くれている、家族や子どもはいないと言っていました。他者に対する愛や、結婚願望を口にするようになりました。

山田 食料自給率やエネルギーも町内で賄い、Uターンが増えて、学校給食だけで食っていく農家とか、色々あったら良いと思っています。Iターンで食っていけるならば、Uターンでも食っていけると思っています。毎日の売り上げをブログで公表しています。

増子・山田・岸田 海外で出会った3人が、津和野町で再会して、それぞれの道を歩めるチャンスを与えていただいた農業研修先の方々に心から感謝しています。
*津和野町議会に期待することがあります。

増子・山田・岸田 お金がない人でも農業を始められるように、高価な農業機器を町で購入して格安でレンタルすることや、農業研修生が多様な研修先を選べるように受入条件の緩和や、農林課担当者へ権限を与えることなど、新規就農しやすい環境作りを後押ししていただければと思っています。

*これから困難があると思います。が、応援している人もたくさんいますので、頑張ってください。
ありがとうございます。

聞き手：岡田克也

■編集後記

暑い日差しの中、雑草たちは力強く茂っている。我が家の野菜は雑草に負けまいと頑張っている。

でも、雑草には勝てるはずもなくひっそりと育っている。抜かれても、抜かれても命をつないできた雑草たち。栄養をもらい水をもらい人の手で育てられてきた野菜たち。

どちらにも命を繋いでいく。人も命を繋いでいく。雑草のように生きようとも、野菜のように生きようとも支え合って生きていく。

6月議会には沢山の方に傍聴に来ていただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。

皆さまに身近な議会と感じて頂けるよう広報づくりに励んでまいります。

寺戸 昌子

議会広報編集委員

◎岡田 克也 ○川田 剛

後山 幸次 京村まゆみ

草田 吉丸 寺戸 昌子